

# 中学校美術科におけるデザインの鑑賞に関する一考察

福田隆真 原田信夫 高下正明 井原隆行 上川律子 浜崎佳代子

A Study on Appreciation in Design Education of Junior High School

Takamasa FUKUDA Nobuo HARADA Takaaki TAKASITA Takayuki IHARA  
Ritsuko KAMIKAWA Kayoko HAMASAKI

キーワード：鑑賞、デザイン、ポスター、造形要素、視覚言語

## 1、鑑賞教育の意義について

平成元年度の文部省学習指導要領の改訂によって、中学校美術科においては、鑑賞教育の奨励と国際化が強調されている。これらの内容は全く別個の次元で捉えるものではなく、色や形という造形的媒体の関与という点で、視覚的な教育としての美術教育を理解する必要があると考えられる。

また美術科だけではなく、今日の教育全体の問題として、生涯教育、社会教育の重視ということが浮上してきている。このことに対して美術教育では美術館などでの社会教育や鑑賞教育による美術の啓蒙と知的理解が対応の方法として考えられる。

従来まで、学校教育での鑑賞は表現活動に関連させながら「表現のための鑑賞」という位置づけがなされてきた。特に、小学校図画工作では表現活動の各々の題材の締めくくりとして、児童のお互いの作品を見るということに留まっている。しかし、新しい学習指導要領での鑑賞の捉え方は必ずしも表現のための鑑賞活動ではなく、美術を理解し、愛好するための一つの方法として鑑賞活動を捉えようとしている。

鑑賞活動を理念的に捉えると、主体的に美術作品とかわりあい、そこに自己の生命を自覚することである。そして、その生命的自覚は、一定不変のものではなく、人間的な成長と相互に関連しながら深まり行くものである。「鑑賞」は作品を制作しないだけで、人間が対象との関わり合いにおいて主体的に美を創造していく精神活動である」(注1)とされるように、人間の本能的な欲求である美を享受する心は、美的情操を高め、より豊かな人間形成を行おうとするものである。また、鑑賞は制作活動に比較して日常的な活動であり、多くの人々が容易に関わることが可能である。

いずれにしても、鑑賞とは作品への単なる知的理解や暗記にとどまるものではなく、対象との関わりあいの中で、常に新たな自己の生命を実感するという行為である。そして、そうした実感によって表現力を高めたり深めたりすることが可能となる。つまり、鑑賞とは初めから自己の生命を自覚したり、作者の精神を見いだそうとするものではなく、作品に出会ったときに受ける素直な印象や感動、それが、鑑賞者の側からの主体的な働き掛けである様々な角度からの分析によって、さらに高められ、深められ、その本来の目的が達成されるというものである。そして重要なことは、鑑賞力は年齢

と共に自然的に発達するものではなく、積極的な働き掛けや、言語による内容の伝達などによって理解を深め、養い伸ばしてやらなければならない、ということである。

本稿ではこうした鑑賞力の育成に関連して、言語による伝達や解説を加えることによってどの程度鑑賞者が理解を深めるかを調べようとするものである。そのために、デザインの教材の中からポスターを取り上げ、鑑賞者が何を観て、どのように理解しているかを調査、報告するものである。

## 2、デザインと鑑賞の観点

デザインの活動や作品は大きく分けて2つの特性をもっている。ひとつは、私達の日常生活を取り囲んでいる“モノ”の機能である。いわゆるプロダクトデザインであり、使用目的に合わせて機能的に美的に製作されるプロセスであり、結果としての製品である。もうひとつは、伝達機能のためのデザインである。ポスターや地図、図表をはじめとする、視覚伝達デザインである。

これらは、小中学校での美術教育のなかでは、平面的な内容のデザインとして視覚伝達デザインが扱われ、立体的なものとして、工作、工芸と関連させながら、使用機能の学習がなされている。さらに、中学校では、造形全般の基礎的内容として構成の学習があり、そこでは具体的目的をもたないで、色や形の造形要素とそれらの造形的効果の視覚言語の習得が行われている。小中学校で広義にデザインを捉えた場合、構成学習も含めた内容を取り扱っていることがある。しかし、基本的に構成とデザインの学習は異なっており、構成は造形全般の基礎を学習の対象とし、その方法も系統的に取り扱われている。つまり、純粹に造形感覚の育成であり、造形的発想の訓練であり、更には造形的技術の習得などがその目的となる。そして、デザインの学習では構成の学習を応用させながら日常的な問題解決学習へと学習の対象が拡大される。構成、デザインの両者には造形要素や視覚言語といった造形方法に関する客観性が含まれており、表現活動においても鑑賞活動においても重要な役割を果たすと考えられる。

デザインの鑑賞の場合、絵画や彫刻のような単なる心象表現ではないので、目的を持った表現として捉える必要がある。また、デザインや構成の造形方法は、モデルを写し取るという再現的方法ではなく、個々の造形要素を組み合わせたり統合したりする非再現的方法が採られている。また、生産機能に関するデザインでは、材質の選択、使用機能や製作技術なども造形方法の重要な要素となっている。そして、デザインの作品の鑑賞では、表面に表われた造形要素や視覚言語を理解することから始めることによって作品の内容的理解が促されると考えられる。

作品を鑑賞する場合、いくつかの観点を設定することが可能である。例えば、美術史的観点、造形要素の観点、主題や発想の観点、用途や機能の観点などが上げられる。これらは作品の内容によって重視する観点が変わってくる。絵画とデザインの場合においては心象表現と目的表現の違いがあるように、作品の解説や見方も自ずと異なってくる。今回の事例のように伝達目的を持ったポスターでは伝達内容の明快さ、造形要素や視覚言語などの視覚的な秩序、さらにそれらに伴う美的感覚などが鑑賞の対象となる。

そこで、本稿の調査では、平面的なもので伝達機能のためのデザインであるポスターをとりあげ、作品の理解のために観点として、主に造形要素と視覚言語の解説を加えることによって、鑑賞者の理解がどのように変化したり深められるかを見た。

### 3、ポスターの鑑賞とその分析

#### (1) 調査の方法

この調査では中学生を対象とし、中学美術の2年生の教科書、副読本に掲載されているポスターを選び、まず、解説をほとんど加えないで作品の印象を記述させた。(感想文①)次に、教師が、ポスターについて造形的側面と内容的側面について解説を加え、鑑賞の観点のある程度指示した後に、内容の理解を見るために、感想文を記述させた。(感想文②)

#### (2) 鑑賞者と時期

- ・下関市立東部中学校第1学年生徒34名(男18名 女16名)
- ・山口大学教育学部附属山口中学校第2学年生徒36名(男18名 女18名)
- ・堺市立福泉南中学校第2学年生徒40名(男22名 女18名)
- ・下関市立東部中学校第3学年生徒41名(男19名 女22名)
- ・1989年11-12月

#### (3) 鑑賞作品と解説

- ・「パリにおける日本のデザイナー12人展のポスター」田中一光(図1)

「伝統と新しい技術」と題するパリでのグラフィックデザイナーの作品展のポスターである。田中一光は、日本的な色と形を現代的に使うデザイナーの一人である。この作品に見られるように、歌舞伎役者という伝統的内容をモチーフとしながら、直線を用いて現代的なシャープさを表現している。色彩も、歌舞伎の着物を連想させる日本的な配色である。大胆な画面分割はダイナミックな感じを見るものに与える。画面の顔の部分は左右対称にしてあり、身体の部分で角度を付けて自然な方向性を出している。かつらの部分がすべて真黒ではなく、少し薄い黒色の正方形を描くことによって、立体感を巧く表現している。歌舞伎役者の迫力が伝わってくる作品である。

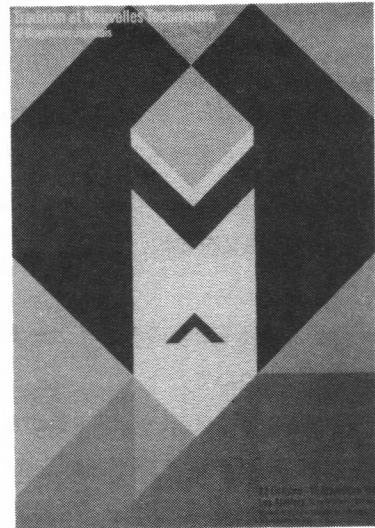


図1 「パリにおける日本のデザイナー12人展のポスター」田中一光  
1984年

- ・「日本舞踊のポスター」 田中一光（日文教科書 第2学年 P22）（図2）

田中一光は、日本の伝統的な色と形を現代的に表現しているグラフィックデザイナーである。この作品も日本舞踊の踊り子を大胆な構図と明快な色彩によって現代的に表現している。顔とかつらは左右対称の形で正面を向き、身体の部分が左方向に動きを持たせている。顔の部分に化粧の感じを表すためにピンク色のボカシの技法をつかっている。ポスターの役目として必要な伝達事項の文字は、左上に簡潔にまとめられている。右上の青い円はカンザシの飾りを象徴的に表したものである。こうした表現は写実的ではないが、見るものに踊り子の具体的なイメージを十分に喚起させる。

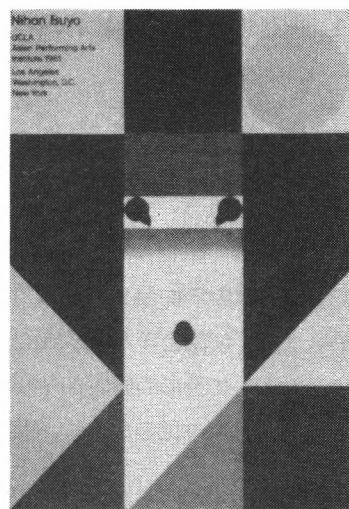


図2「日本舞踊のポスター」 田中一光  
1981年

- ・ 田中一光について

1930年奈良市に生まれる。1950年京都市立美術専門学校（現京都芸大）卒業。大阪サンケイ新聞社、日本デザインセンターなどを経て、1963年田中一光デザイン室主宰。1973年第19回毎日デザイン賞、東京ADC会員賞、1980年芸術選奨文部大臣新人賞、1983年日本宣伝賞、第4回山名賞、1985年フィンランド第6回ラハティ国際ポスタービエンナーレ文化第2位、1986年ニューヨークADC金賞などを受賞。1973年より西武流通グループのアートディレクター。

#### (4) 調査の結果

それぞれの鑑賞者の1回目(①)と2回目(②)の感想文を要約したものが下記である。ここでは鑑賞者の感想をできるだけ直接的に記録するために、あえて細かな分類分けをせず、作品の個々のモチーフから受ける感想、作品を成り立たせている造形要素と視覚言語に対する感想、さらには両者を包含していると考えられる表現内容に対する印象と理解の、以上3つに分類して1回目と2回目の感想文を要約、比較した。

#### ◎「パリにおける日本のデザイナー12人展のポスター」(1年生対象)

モチーフについて

- ①・目の回りがなぜ赤いのか・首がない・鼻がない・眉がない・目と口が怒っている・頭が青い・髪型が変・顔が変・顔が細い・顔がおかしい・着物を着ている
- ②・化粧が濃い・顔が面白い・髪型が変・服が派手・なぜ鼻がないのか

造形要素と視覚言語について

- ①・線がつながっている・左右対称・髪の毛の色が違う・服の色が違っているのがよい・角ばっている・単純すぎる・三角や四角でできている・ほとんどが直線・丸い形が使われていない・色がよい・額の色がフランス国旗の色使い・顔が六角形、直角になっている・大きく描いている・髪型が楽しい・顔だけ左右対称なのは何故か・補色使い、配色のバランスがよい・額の水色がきれい・目の回りの赤が目立つ
- ②・線が交わっている・直線ばかりで鋭い感じ・曲線が目のところだけ使われている・左右対称で良い・全くの左右対称でないのが良い・四角や三角で表現されている・四角や三角で表現されているのに人間に見える・単純化が上手になされている・ダイナミックに描いてて良い・立体感があることに気付いた・ほかには立体感を出さなかったのか・立体感があるとは思えない・色使いがよい・色が独特できれい・中々渋い色がつかってある・服が三色で描いてあって鮮やか・服が補色になっている・目の赤がすごく良い感じ・紫色が周りの補色との関係できれい・バックはなぜあの色にしたのだろう

#### 表現内容 (印象) について

- ①・尻によくこの様な絵がある・日本的・怒っているように見える・威張っている・殿様のようにきりっとしている・地球上にいない・オランウータンのようだ・日本人をかいている・歌舞伎をやっている人だと思った・時代劇に出てくる女性だと思った・見てて飽きない・始めはよくわからなかった・変な絵・迫力がある・日本独特・歌舞伎の感じ・役者みたい・本物とは違うがどこか似ている・外国人に人気のある歌舞伎をモチーフにし、単純化して日本を象徴している
- ②・歌舞伎とわかる・歌舞伎は古いイメージがあるのに現代的・着物が現代的・日本的・侍みたい・迫力がある・男らしい・怖そうな顔・すごいポスターだなあ・いろいろ工夫している・日本のイメージの歌舞伎と、新しく進んだ国のイメージを直線を多く使って、外国人に日本という国をアピールしているのだと思った

#### ◎「日本舞踊のポスター」(二年生対象)

##### モチーフについて

- ①・右上の青丸が何を表しているのかわからない・右上の青丸ので着物を着ている女の人のということがよくわかった 髪飾りと思った・目の上の紫が面白い 目についたピンクや紫はお化粧みたい顔のほんのりした赤色がよい・髪の毛の形が工夫されている 昔の女の人の感じがよく出ている髪の毛の下の部分が薄くなっているのはなぜだろう・眉がないが変に見えない・酒を飲んで酔っ払っているみたい・目が日本舞踊らしい・女の人が着物を着ている
- ②・右上の青丸はかんざしとわかった なるほど びっくりした かんざしに見えないがよい表現と思う かわいい かんざし、かつらが工夫されている・目の上の紫が何かかわからない・化粧しているみたい 化粧の表現がうまい 化粧が濃い 頬紅を目の下に描いていても化粧しているように見える ポカシの技法でより頬紅らしい・髪の毛が工夫されている 髪型が変・体をひねっていることに気付かなかった・左の袖を上げているよう・青と緑がえりて赤が袖だと思う 服が派手・説

明を聞いたらわかった・今見ると、かつらや着物を表していることがわかった

#### 造形要素と視覚言語について

①・角張っている 角張った外形と人間らしい目や口が好対照・直線で描かれていて好きだ・三角や四角で表現されている 三角や四角で表現されているのが面白い デザイン的な表現の仕方が面白い・色紙を貼ったみたい・単純な絵だがしっかり人間を表しているところがすごい 不思議だ・単純な図形の組み合わせ、配色で表されているのに日本的な感じがする 日本舞踊の芸者の感じがうまく表されている 表情がある・単純な表現で印象強い 単純化し過ぎだと思う・左を向いている感じがする・良く工夫がされている・色の使い方がうまい 色をいっぱい使っている 少しの色で表現 大胆な色使い はっきりしている 鮮やか・原色でかかっているのに背景が灰色で思うほど派手すぎない・青色の丸がよい効果を与えている・色が日本的 色合いが芸者らしい・色に個性がない

②・単純ではっきりしている 特徴的に単純化がされている こんなに簡単なのにこんなにきれいなポスターができることに驚いた 単純化、省略されてもお強く訴えるものを持っている 日本らしい印象を与える 単純化されていてもパッと見てわかる 見易い・大胆な表現でも踊り子とわかる・左右対称の工夫がされている 整ってみえる・動きを出すため工夫がなされている 言われてみればなかなかうまくできている すごい 知らなかった 上部が左右対称、下部は左を向いており動きがある・立体感がある・部分部分の要素が全体を引き立てている カクカクした中に水色のかんざしが目立っている かんざしが青い丸一つというのは寂しい・大胆な中に繊細さがある

直線で表されているのに柔らかさがある・大胆な色と構図により、ポスターの「目を引く」という条件を果たしている ポスターは目立つことが大切と考え直した

・ピンクのボカシが顔をふっくら見せている ピンクと白が対照的でよい・着物の色や感じが現代的・補色使いがよい 強い印象を与える・日本の伝統的な色を巧みに使って見るものに強い印象を与える・背景を暗くして女の人を目立たせている

・良く工夫がされているのだなあ

・伝達事項がまとめてあってスッキリしている 模様のようにもみえて現代的 文字のレイアウトが効果的 文字も美しく目立つ

#### 表現内容 (印象) について

①・一瞬笑いが込み上げた 本当にこんな人がいたら気持ち悪い 一反木綿みたい お多福のような駒のような 浮世絵のような 変な顔 面白い かわいらしい 笑っているみたい すましているように 変わっている 華やか 美しい 変な絵

・日本舞踊のポスター 着物を着た踊り子 昔の女の人 人とわかる・日本舞踊らしい 一見わからなかったがよく見ると舞妓さんとわかる 外国人に日本のことを知ってもらおうポスター 日本舞踊の紹介のポスター 日本風のイメージがするので日本の伝統に関するポスターだろう・田中一光さんが歌舞伎からイメージした



・何かわからない 何が言いたいかわからない どういう人かわからない ・「日本舞踊」と言ってもよくわからない これがなぜ日本舞踊のポスターなのか 日本舞踊のイメージとは違う、日本というよりはアメリカ的

②・神秘的 明るい 印象的 現代人好み 日本的 京都らしい 男らしい 迫力がある 美しい 着物が現代的 歌舞伎は古いイメージがあるのに現代的

・踊り子を表している ・歌舞伎とわかる 日本舞踊の感じが十分に表われている ・舞妓を知らない人にもそのイメージを伝えることができる 外国人にも日本らしさを伝えられる ・コピーが少ないのに何を伝えているか何となくわかる ・実は日本的だったらしい 日本舞踊のポスターということがよくわかる

・説明を聞くとよくわかって面白い 良く見るとまだ面白さが発見できる 具体的なことを知って改めてみると不気味

・まだよくわからない

③「パリにおける日本のデザイナー12人展のポスター」(3年生対象)

モチーフについて

①・鼻がない ・日本独特の顔だちで、目はきりっとして口は鋭い

・簡単な絵 ・とてもうまい絵 上手か下手か良くわからない 誰でもかけそうな絵だが少し難しそう ・変な感じがする

②・左手を上げているような格好

造形要素と視覚言語について

①・ほとんど直線でかかっている ・角張っている ・四角や三角をうまく組み合わせている 身近な図形で描かれている ・単純な線と曲線だけでよく表われている 丸みのある部分は目だけで他の部分は角張っている 直線や曲線をうまく使い分けている ・ほとんど左右対称

・立体的に鮮やかな色使いで表現してある ・色の使い方が大胆 ・色使いが派手でなく見易い 色使いが日本調 ・落ち着いた色使い ・なぜ髪の色に違う部分があるのか、など多くの疑問点がある

②・写実ではない ・直線ばかりでかたくるしい ・顔が左右対称 ・顔を左右対称にすることにより顔が浮き立って見える ・歌舞伎役者ということが線だけで表せるのがすごい 平面的ではあるが顔の表情を良く表している ・白めりと赤い線など日本人のイメージが単純化されている ・曲線や直線、四角形、三角形などの組み合わせによりうまく歌舞伎を表している

・使っている色が華やかな原色でなく渋い色であるところが日本的 ・目立つ色はあまりないが真ん中に赤を入れることによって顔だちがはっきりしてくる ・着物の部分で色を変えているのが面白い ・髪の色に黒と灰色を使って立体感を出す工夫がされている ・デザイン化して描いてあるのを見てうまいと思った

表現内容（印象）について

- ①・怒っているように見える 侍のよう・侍で日本ということを強調している・日本的・日本が関係している・日本的な中にも国際的なデザインがうかがえる・日本独自の文化の「歌舞伎」を日本文化の代表として選んでいるのが面白い・歌舞伎の華やかさを出している感じ・日本の古くからの芸能をうまくデザインして外国人にも興味を引くようにしている・外国人にとって日本というのは「侍」のイメージが今でも強いので歌舞伎役者のような感じで描いているのだろう・日本人の様子を良く特徴をつかんで描いている・凧に描く絵の様な感じ・折り紙を折ってできるような絵・人の形がくずされてデザイン化されている
- ②・デザインが巧い・日本人のよさが出ている・歌舞伎役者を線だけで表せるということがすごい・頑固な気性の日本人をよく表している・歌舞伎役者で伝統を、直線で新しい技術を表しているのだと思った・鎖国時代の日本ではなく、世界の主要な国となった日本のイメージを伝統的な歌舞伎と近代的な直線で表している

#### (5) 結果からの考察

田中一光の2点の作品はほとんど同じ傾向で、日本的な内容を単純化した形と色によって表現されている。モチーフについてみると、「パリにおける日本のデザイナー 12人展のポスター」の方は、単純化された個々のモチーフが完全に抽象化されていないので、具体物を想像することが可能であり、指導者の解説を聞かなくても理解されている。しかし、「日本舞踊のポスター」の方では、単純化が進み、具体物が連想できないものもあり、指導者の解釈が内容理解のための手助けとなっている。

次に、造形要素と視覚言語について見ると以下のようなものである。デザインの作品を構成している造形要素や視覚言語は、直観的に把握するものであるが、ある程度の知的方向づけや基礎的知識が必要と考えられる。例えば、「パリにおける日本のデザイナー 12人展のポスター」の鑑賞で1年生においては、造形要素や視覚言語に対する基礎知識が乏しく、色や形に対する直観的把握はされているのだが、「額の色がフランス国旗みたい」とか「髪型が楽しい」といったふうに具体物への連想で理解しようとしている。そのため、系統的な理解ではなく、拡散的になる傾向にあるといえる。しかし、ある程度の解説をほどこした後では、「直線ばかりで鋭い感じ」とか「全くの左右対称ではないのがよい」あるいは「紫色が周りの補色との関係で、きれい」といった、系統性のある見方が出来るようになってきている。見方というよりも、目に見える現象を言語によって整理することが出来るようになったとも解することができる。

この傾向は、基礎的知識や鑑賞の経験を積み重ねることによって顕著になり、「日本舞踊のポスター」は2年生が鑑賞したものであるが、ここでは「特徴的に単純化されている」とか「部分部分の要素が全体を引き立てている」と言った画面を構造的に把握することが出来るようになる生徒もいる。

造形要素や視覚言語のようなある程度の客観性を持つ造形感覚を習得することは、全体の水準を引き上げたり維持することになるが、反面、画一的なものの見方に陥る可能性を孕んでいる。し



かし、そのことを過剰に懸念する必要はなく、鑑賞のための基礎として位置づけておき、本質的に、鑑賞とは表現内容の理解であることを目的として認識しておく必要がある。

次に鑑賞の本質である表現内容についてであるが、今回の調査に使用した作品は、形態を単純化はしているが抽象作品ではないので、具体物としての表現の理解は一応なされている。「パリにおける日本のデザイナー12人展のポスター」においては、「凧のようだ」とか「オランウータンのようだ」という単純な連想もあれば、「日本独特」「本物とは違うが、どこかにている」といったように作者の表現意図を理解することが出来る生徒もいる。そして、指導者の解説を聞いた後は、ほとんどの生徒が内容的理解をすることが出来た。

#### 4、まとめと考察

前章の調査の結果から考察されることを学年別に見ると、以下のようになる。

##### (1年生)

###### モチーフ

- ・ポスターに描かれた人物と、実際の人物との違いにこだわる生徒は少数ではあるがいる。
- ・説明を聞いた後、「歌舞伎と分かる」や「日本的」という言葉が出てくることを見ると、始め人の顔だということさえ気付かずに絵の内容に入る糸口さえつかめなかった生徒が、そのモチーフを理解することにより表現内容にまで意識が向かっていることが分かる。しかし、それが、「なるほど」とか、「そうだったのか」「やっぱりそうか」といった、絵解きに留まらず、それをきっかけにもっと奥深いところまで思いを巡らせることが大切である。

###### 造形要素と視覚言語

- ・造形的な指導は、補色の美しさや、単純化することに対する効果、グラデーションによる立体感などの知的理解となり、それが、生徒自らの創造につながっていくことに効果が大きいと思われる。

###### 表現内容

- ・全体から受ける印象を大変素直に言い表しているように思う。

##### (2年生)

###### モチーフ

- ・モチーフに対する疑問は、説明を聞くことにより解決し、何だろうという不可解なこだわりがなくなったことで、もっと別の想像に解き放つことができるようだ。

###### 造形要素

- ・造形要素に関して、幾何学形態で表現しているという、今まで見てきたものとの違いには気付いている。ただそれは、「カクカクしている」とか「おもしろい」という印象を与えていても単純化することの意味や効果をはっきりと意識するには今一步という気がする。中には、四角や三角だけで人間と分かってすごいといった生徒も少数ではあるがいる。

- ・説明を受けた後に動きを出していることや、横を向いていることに気付かされ「知らなかった」「そ

うだったとはすごい」という言葉が多く見られる。

- ・造形要素の色彩について、女子の方が圧倒的に興味を示していることは興味深い。

#### 表現内容

・ポスターが何かを伝達するものであることは多少意識され、題などから判断する生徒がいる。しかしまだ絵画と同じように考えるものが多く、目立ちやすさ、インパクトの強さなどに対する関心が少ない。

。(3年生)

#### 造形要素と視覚言語

・ポスターを資料として使ったことの利点として、絵画などの資料に比べて表現内容よりも造形要素の方に注目しやすいということが考えられる。またアイデアや発想の面白さについて考えるきっかけを与えることができる。

・「グラデーション」「単純化」などの用語に対して、生徒が具体的イメージを持ちやすくなり、また、そのことにより製作意欲が高まることもあると思われる。

・鑑賞の時間を授業で設けることによって、生徒に新しい視点を与えることができるのは確かである。

・一つの作品に対して多くの視点を与えることは、物事について幅広く考えようとすることにもつながる。

・鑑賞教育でどんな作品を取り上げるにせよ、何かについて考えるきっかけを生徒に与えることはよいことである。

・美術や図工の授業でなくとも、国語や音楽、社会などで美術鑑賞を行ってもよいと思う。

以上のことからデザインの作品、特に平面的な視覚伝達デザインの作品の鑑賞活動について一考すると、伝達機能の理解、造形要素と視覚言語の教育の必要性、抽象的なものの見方の教育、絵画との相違などが考えられる。

まず、伝達機能については、視覚伝達デザインの作品が単なる心象表現とは違った機能を持つことを鑑賞の前提として知る必要がある。ポスターに描かれているイラストレーションや幾何学形態が、それ自体が意味を持つのではなく、全体を構成する一部であることを知る必要がある。そのことは同時に画面を構造的に認識することにつながり、画面の分析的見方である造形要素や視覚言語の教育が必要となってくる。

造形要素や視覚言語の教育は系統性があり、学年別の鑑賞の感想文からも推測されるように、学年が進むにつれて、造形要素や視覚言語をデザインの作品の見方の基幹とする傾向が出てくる。造形要素や視覚言語は作品を表現するための部分であったり、鑑賞のための分析的手段であり、部分の統合が必ずしも全体の真の表現や理解に通ずるとは限らないという見解もあるが(注2)、少なくとも全体のイメージを把握するための有効な手掛かりにはなる。

また、造形を媒体とする言語は解釈の多様性を含んでいるが、イメージを通してのコミュニケーションの手段として有効である。

全くの抽象的なものによって構成されている作品の鑑賞については、今回の調査でも一部行ったが、

幾何形態や色彩に対するイメージの受け取り方が多様で、そこには作品を解説する指導者の適切な理解と価値観の提示が必要であると考えられる。

全体としてデザインの鑑賞においては指導者の解説や生徒への呼び掛けが重要な役割を持つと考えられる。造形要素や視覚言語は画一的指導や価値観の押しつけになりやすい懸念もあるが、美術文化を愛好するために基礎的理解の手段として有機的にかつ有効に取り扱う必要があると考えられる。

#### 注

- (1) 川村善之著「美術の鑑賞教育 理論と実践」日本文教出版社 1975年 p33
- (2) アントン・エーレンツヴァイク 岩井寛他訳「芸術の隠された秩序」同文書院 1974年 p49

#### 参考文献

- ・「現代世界のグラフィックデザイン 第1巻ポスター」講談社 1988年
- ・宮脇理監修 福田隆真他編集「美術科教育の基礎知識」建帛社 1985年

福田隆真、上川律子、浜崎佳代子；山口大学教育学部

原田信夫；山口大学教育学部附属山口中学校

高下正明；下関市立東部中学校

井原隆行；堺市立福泉南中学校